

「青い地球と人を守る」 -横浜ゴムの取組み-

2014.7.23
横浜ゴム株式会社

名称 : 横浜ゴム株式会社

設立 : 1917年10月13日

資本金 : 38,909百万円

売上高 : 6,016 億円
(2013年12月末／連結)

従業員数 : 19,770 名
(2013年12月末現在／連結)

本社 : 東京 (新橋)



横浜ゴム本社外観



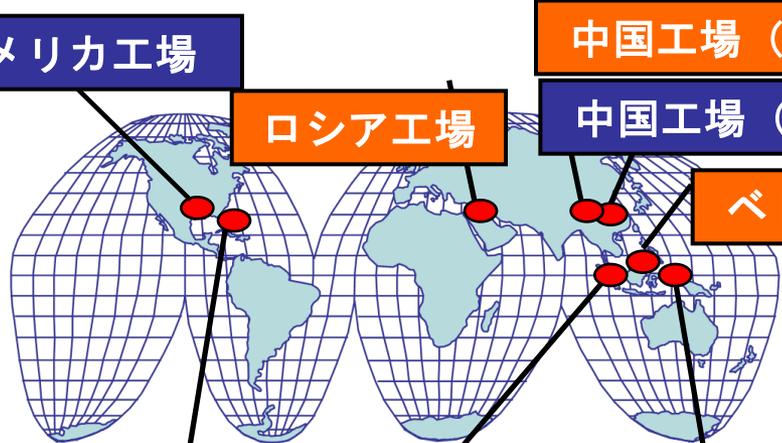


分野	売上比率	主な商品				
タイヤ	80%	乗用車用 	トラック・バス用 	建築車両用 	更生タイヤ 	レース用 
MB	20%	工業資材事業／スポーツ事業 高圧ホース コンベヤベルト  		免振ゴム 	マリンホース 	防舷材 
		シーリング材 	航空部品  		新幹線床材 	ゴルフ用品 

生産部門の拠点

海外生産拠点

国内生産拠点



アメリカ工場

ロシア工場

中国工場（杭州・蘇州）

中国工場（杭州・山東）

ベトナム工場

セーラム工場

タイ工場

タイ工場

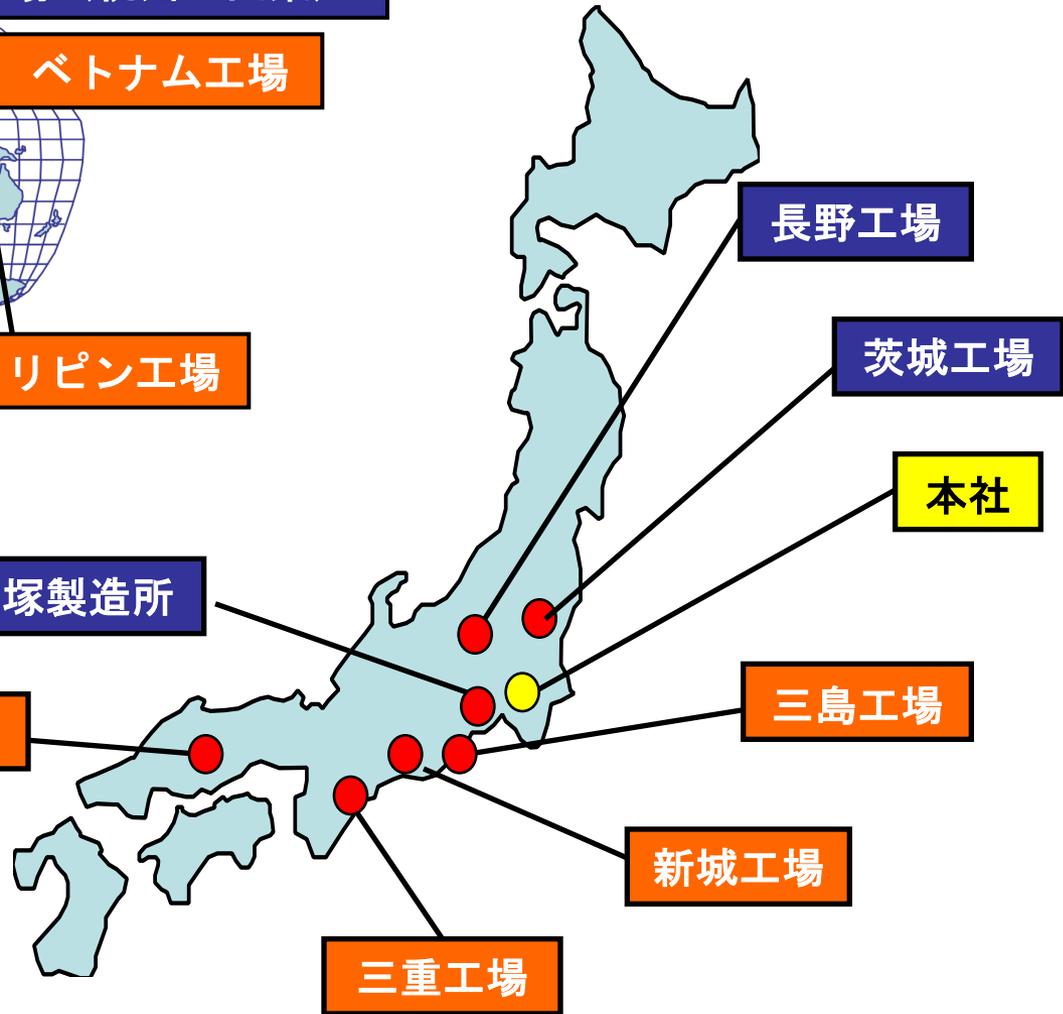
フィリピン工場



タイヤ事業生産拠点



MB事業生産拠点



長野工場

茨城工場

本社

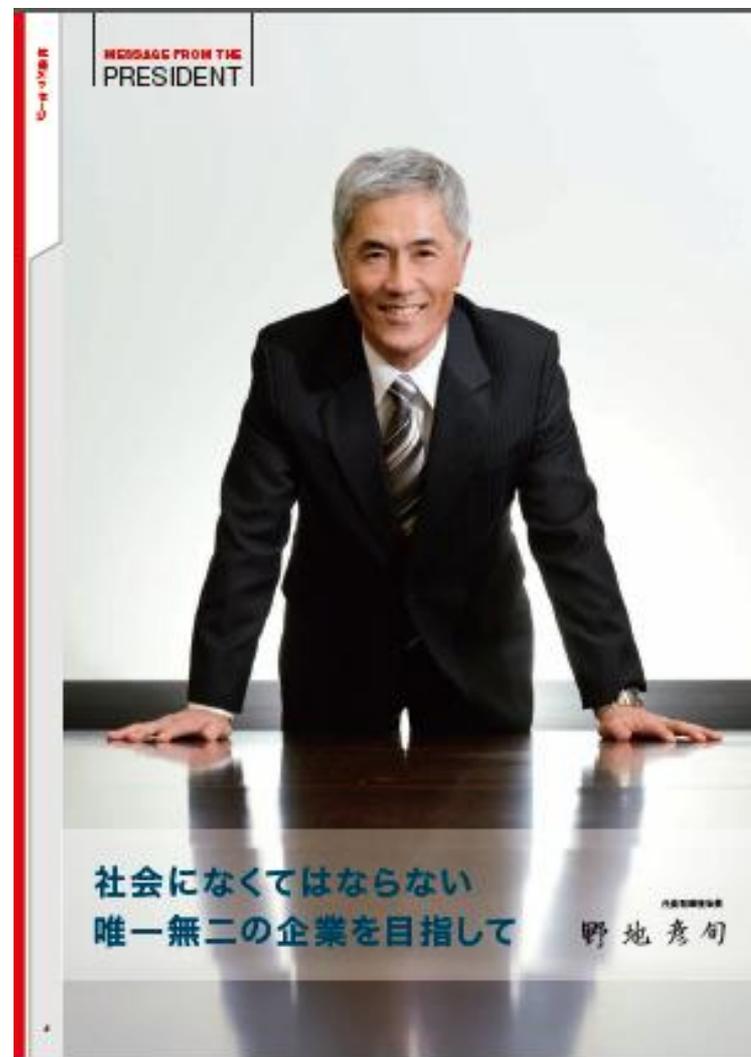
平塚製造所

尾道工場

三島工場

新城工場

三重工場



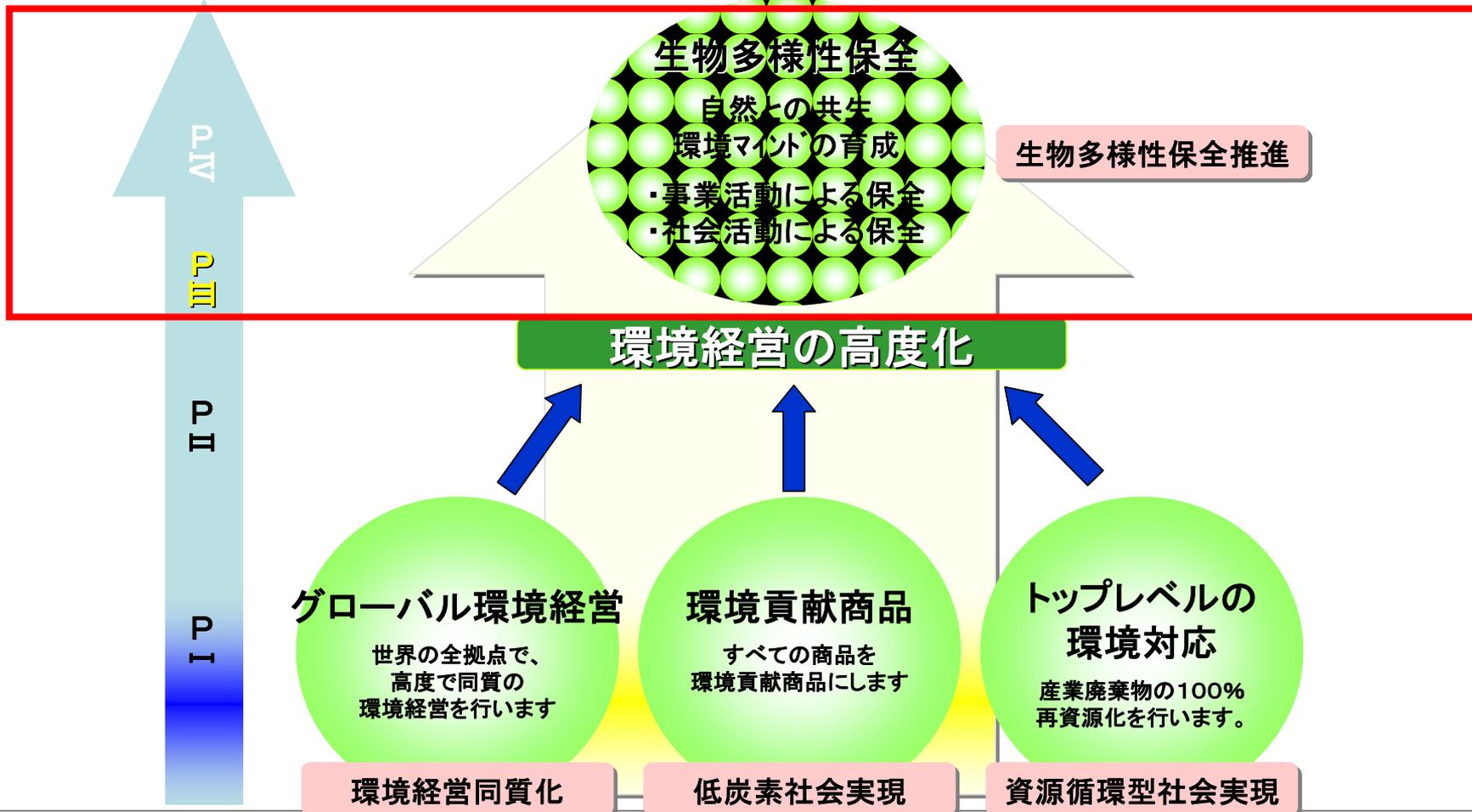
- ★視点を「世界」に置いて供給責任を果たしていく
- ★あらゆる場面において省資源化を目指す
- ★「横浜ゴムの製品だから買う」そんなブランド力を確立するために

「青い地球と人を守り続けたい」

トップレベルの環境貢献企業



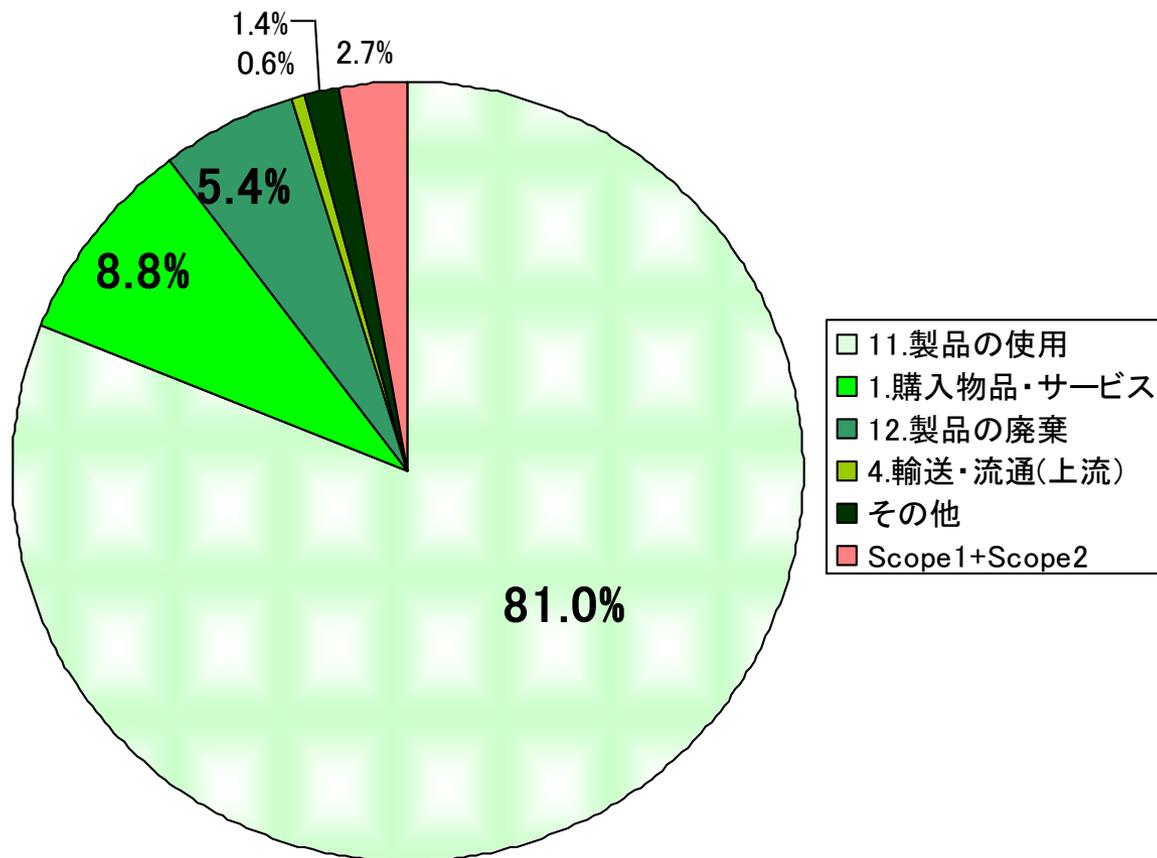
2017年



SCOPE3の検討

- スコープ1～3 を100としたとき
スコープ3カテゴリ11(製品の使用)が全体の81%を占めている

GHG排出量 Scope 1～3



打ち手;

カテゴリ11「製品の使用」
⇒燃費性能の向上・エコタイ
ヤ率向上

カテゴリ1「購入物品」
⇒天然資源比率向上・省資
源化

カテゴリ12「製品の廃棄」
⇒3R、リトレッド

今後の課題

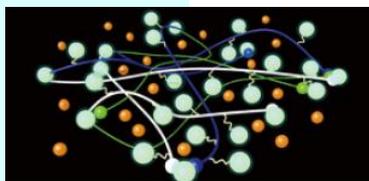
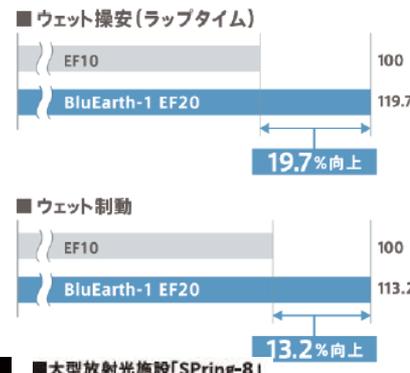
- スコープ3のデータ精度向上
- GHG総排出量削減に向けた取組課題の設定

BluEarth-1 AAAspec EF10を進化させ、ウェット性能の大幅向上を達成。
低燃費タイヤグレードの最高峰<AAA/a>を獲得。

転がり抵抗AAAを維持しつつウェット性能を



大幅に向上



【新規採用技術】

- 新ナノブレンドゴム (EF20仕様)
- ・ SPRing-8 (大型放射光施設) での検証
- 新非対称トレッドパターン
- ・ ハイブリッドウェーブ最適化 + サイプ面取り
- 新プロファイル
- ・ 多目的遺伝的アルゴリズム



【EF10踏襲技術】

- ・ AIRTEX (YAL)
- ・ デンプルサイド
- ・ サイレントリング



低燃費タイヤの削減効果 (概算)

カテゴリー	グレード	標準からの削減量 (概算)
低燃費タイヤ	AAA	-100kg
	AA	-70kg
	A	-38kg
汎用タイヤ	B	標準
	C	+38kg
	(C以下)	+40kg

注) JATMA資料を参考に独自に計算

三重工場環境活動

第21回 ふれ愛まつり開催

「ふれ愛まつり」の狙い

- (1) 地域との融和と開かれた工場の実現
- (2) 工場のみみんなが同じ目標に向かい、一つになって行動する

■実施日 5月3日(土)

■推定来場者数 約7,000人

2014年度テーマ

～「環境を楽しく学ぶ」～



出店の売上 654,310円

⇒売上金から社会福祉協議会及び女川町へ寄付

ふれあい祭り & EV自動車イベント

ふれあい祭りで環境イベント開催

伊勢市低炭素社会創造協議会ご協力いただき超小型モビリティの展示、試乗会を開催しました

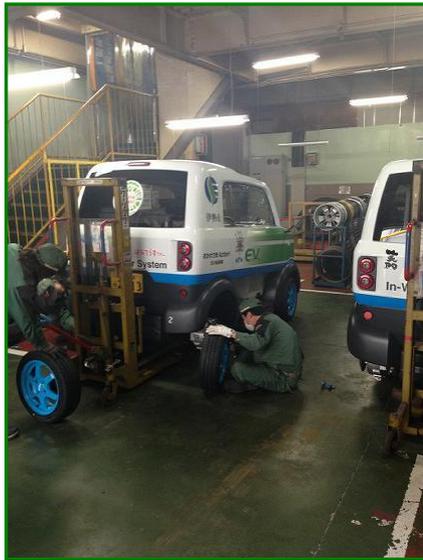


EV自動車、EV電気バスへのタイヤ提供

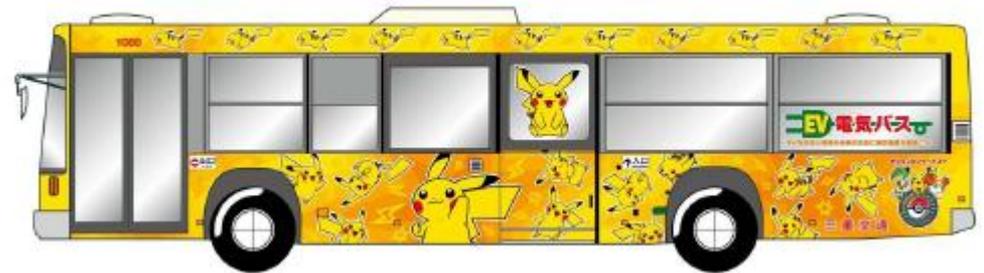
伊勢市低炭素社会創造協議会への参画

超小型モビリティ（電気自動車）5台へのBlueEarth AE01の提供

三重交通株式会社 電気EVバス 1台へZEN 702ZESの提供



超小型モビリティ（電気自動車）5台へ
BlueEarth AE01装着
（品証課試験室にて）



三重交通株式会社 電気EVバス へ
ZEN 275/70R22.5 702ZES 6本装着

EV自動車運転講習会

伊勢市低炭素社会創造協議会への参画

超小型モビリティ（電気自動車）5台へのBlueEarth AE01の提供
伊勢市商工会より電動アシスト自転車2台と超小型モビリティ1台 モニターレンタル。

アシスト自転車は守衛の工場巡回や銀行等近くへの外出に利用。
モビリティは距離のある伊勢市内外への外出の移動に利用。



超小型モビリティ安全運転講習会開催



電動アシスト自転車の活用



環境月間の取組み

エコ通勤チャレンジ 車での通勤を自転車、徒歩で通勤しCO2削減に取り組もう
 16日現在13名が賛同し173.75kg-co2
 (1ℓ牛乳パック86,875本相当)の削減実績

残飯削減エコの取組み 毎月大量の残飯を捨てている現状を少しでも減らし、
 食物の大切さを知り、
 環境問題を一人ひとりが考える機会にする



ペーパーレスのすすめ 必要な書類の削減を進めるのではなく、印刷前のプレビュー確認や縮小印刷、裏表印刷への工夫でペーパーレスを進めよう!

	2014年1月~4月 月間平均枚数	目標値 5%削減	6/16 中間結果	使用率
A3	16,819	15,978	8,434	53%
A4	90,511	85,986	47,981	56%

環境月間啓蒙活動 エコ宣言、ポスターを募集。

業務課 森田 浩子 Mの箸、Mのバック、Mの氷筒 MのM(あいまい)にはしません 私のエコ活動!	製造二課T日加雄 安井 宗裕 自分の物ではないからと ムダ使いしない	製造二課T成形 梶家 ふかこ 近い距離、 車を使わず歩こうよ	シャワーとドライヤーの時間を 短くする為に 短髪を維持します 製造一課押出 中谷 均
---	--	--------------------------------------	---



ご静聴ありがとうございました。